

自分という敵

〈文〉スペースベン代表・田中 勉

西暦二千年の年も明け、新しい年度を迎えるにあたり、皆様がいかにお過ごしでしょうか。進学する方、就職する方、それぞれの過ごし方をして、準備は万全でしょうか？

ステージといっても、人それぞれであり、人生そのものがステージというしかない、雑多な世紀に向かっている今、「何と苦痛な」時代に生きているか、と思うか、「何と楽しい」時代に生きているかということ、それぞれに改めて認識できるということは、個人的には、すごく、素晴らしいこと

だと思っ毎日ですが、自殺・いじめ・戦争が日常的に行われている今の時代の中では、「癒し」も日常化され、意味のないこととなつてしまっているのでしょうか。非日常が日常化され、日常が非日常化される。それこそが、本当にオソロシイことなのではないかと思うんですが……。

ともかく、毒も市販化されている今、自分をしっかり持って、21世紀に立ち向かいます。

先日、元X-JAPANのトシのライブがありました。

彼が言っていることは、すごく当然のこと

で、それをモットモラシク、くどくどと言うのが気になったところではありますが、流石に歌はうまいですね。

歌詞の内容はともかく、全く声は素晴らしい。

その意味では、くどくどと歌の素晴らしいさを解く人間よりは、ある意味で頂点を極めた人間の「声」を聞くことがいかに勉強になる

かということ、肌で感じてほしいライブではありません。

ミキシングをされていて、興奮させられたのは事実でありました。何も、ウマイ歌が聞きたいのではありません。

似たような骨格、体形をしていれば、ウマイ歌を歌う人はいくらでもあります。

それは何の魅力もありません。その人の生き方が聞きたいのです。

その人の、真の「声」が聞きたいのです。

酔っぱらって自分の「声」で歌を歌う人がいます。

それを笑う人もいます。しかし、そうでしょうか。

ぐでんぐでんに酔っぱらい、立ててもせず、声も出ない位になつても歌つてしまふ。

そんな人間が歌うカラオケを、私は愛したいと思えます。

そして、それこそが、その酔っぱらいに接することが、ある意味で本物と付き合うことになるというのを、忘れてはほしくないのです。

先日、夢を見ました。親友と言える人間かどうかは、未だに分からない人間ではありますが、放っておけない人間であることは確かです。

その人間が、今の私を責めるのです。

夢占いで、今の私を判定して欲

3月の Friday Amusement Negative Shop

※全て午後7時30分～、料金500円
※チケットはスペースベンにて販売

中里病院
→至三日町
NTT Space BEN

駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

☎ スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎FAX 43-9876

FANSの番組につきましては、デリーー東北の「あすのメモ」「きょうのメモ」欄でご確認下さい。

FANSでは、役者、スタッフ、その他何でも、何かを表現してみたい人を募集しています。ご遠慮なく、ご連絡下さい。

■3月3日 (317回)
「FANSプレゼンツ VOL. 18」

■3月10日 (318回)
「FANSプレゼンツ VOL. 19」

■3月17日 (319回)
「Battle Talk VOL. 2」

■3月24日 (320回)
柏崎真由美演劇公演

■3月31日 (321回)
「ひま人」 出演：田中勉

●●FANS番外篇●●●●●

■19日 (日)
「西尾まさきライブ」

開場：19時
開演：19時30分
料金/一般……2000円・高校生以下……1000円
(※当日500円増し)

しいのではないのです。

ともかく、その人間は、責めます。

どうして、あの時、救ってくれなかったのか。

どうして、あの時、俺をハメたのか。

ともかくその人間は、私のことを責めます。身に覚えが無いことでも私のことを責め、なぜか私も納得してしまいます。

あやまつてしまふ、私が、そこに、いました。

責める人間が、そこに、います。

事実ではないにしろ、私と奴は夢の中で、自転車のチェーンを取り外し、盗みましました。

そのことが原因で、奴は「人の道」を踏み外し、今でも仕事を転々としています。そして私は……。

なんででしょう、なんなんでしょう。事実ではないこの夢が、私の心を苛みます。

勝ち負けではない、理屈ではない世界が繰り広げられていることを、改めて知らしめられたような気がしているこのごろです。

殴られても、糞をたれながらも這いつくばっても生きていくしかない自分を見せられた気がしています。

最近、夢を見たこともなかったけど、たまにはいいなァ。

ツツク。